



News letter VOL.01

鳥取市では、将来にわたって公共施設を安心して使い続けていけるよう、施設の再編を検討しています。その取り組みとして、現在「河原地域のくらしと公共施設を考えるワークショップ」を開催しています。「このまちでどんな暮らしをしていきたいか」、「そのためにどんな施設が必要か」を、全3回のワークショップを通じて地域のみなさんと一緒に考えていきます。

Topic 1 地域の使い方をマップにする！

第1回のワークショップでは、最終成果物に向けた素材集め・現状把握の作業を中心に行いました。ワーク1では、公共施設を含めた地域での活動や行動をマッピングして、可視化する作業です。河原のランドマークから日常生活で使うような施設までたくさんの使い方をしていることをグループで共有しました。



河原町全域の地図

Topic 2 地域の大切・必要なこと

ワーク2では、これから河原地域において大切にしたいこと、必要と思うことを出し合いました。皆さんのくらしの中でも様々な要素が出てきました。生活に関わる買い物や交通はもちろんのこと、地域の特色や河原らしさを大切にしていきたいという想いを共有しました。



Topic 3 発表に向けた準備

ワーク3では、グループで出た意見のまとめを行い、全体発表に向けた準備を行いました。大切・必要なことを分類することで、今日の作業の全体像が整理できました。



Topic 4 全体共有＆次回に向けて

ワークショップの最後には、今日の成果を他グループへ共有する全体発表を行いました。発表の中では、グループごとに大切にしたいことや重要視していきたいことなどの色が見えて非常に充実した作業内容となっていました。

普段の公共施設を含めた地域での活動・行動を改めて可視化することで、参加者からは「意外と行ったことがない施設が多い」や「くらしと公共施設を結び付けて考える機会がこれまであまりしていなかった」などの声も聞こえてきました。

次回は、今日出された「大切にしたいこと」や「施設の使われ方」をもとに、「それぞれの施設や地域資源の今後の可能性」を案をもとに考えて考えます。より具体的なアイデアを考えることで、実際に地域でどのような工夫や活用ができそうか、イメージを深めていきます。



参考：A班の成果物

次回：11月8日（土）9時半～11時半（場所：西郷地区公民館）